

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 5年 2月25日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、児童の特性や状況に応じて部屋割りし適切に利用できるよう努めております。	
	2	6		国の基準を満たしたうえで基準以上の人数を配置しています。専門職も配置しております。	
	3		6	階段には滑り止めを設置し、昇降については職員が見守り事故防止に努めております。	車椅子利用の児童から受け入れ希望があった場合等、必要に応じて環境や対応について協議・検討してまいります。
業務改善	4	6		毎日の朝会や月2回のリフレクション会議にて振り返りや業務改善に努めております。	
	5	6		年一回のアンケートを実施し、ご意見を全職員で周知・検討し今後の改善に努めております。	
	6	6		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。
	7		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	6		定期的に社内研修を行っております。社外研修にも参加し、職員の資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	9	6		定期的にアセスメントを実施して、個別支援会議ではその内容を話し合い計画を作成しております。	
	10	6		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めております。	
	11	6		長期休暇の利用時は、児童に合わせた活動や支援を長期休暇だからこそできる活動を職員間で考え充実した一日を送れるよう作成しております。	
	12	6		活動プログラムの固定化や隔たりが起きないよう職員間で協議し、組み合わせております。	
	13	5	1	長期休暇時には季節のイベントに付け加えて集団で楽しめる活動をバランスよく提供しております。	コロナ禍の為、外出事は難しいですが季節に合った創作活動を職員で考え提供してまいります。
	14	6		マンツーマンで個々の成長を支援する場面と、集団の中で社会性を育む場面と両面で計画を作成しております。	
	15	6		毎朝、全職員が出発後、前日の振り返りも含め打ち合わせを行い役割等を確認しております。	
	16	5	1	職員ノートを作成して情報共有出来るよう努めております。	勤務時間によっては、全員で終了時の打ち合わせを行うことができないこともあるため、終了後だけに限らず、児童の様子、保護者様について気づいた点などがあれば、その都度全職員で共有してまいります。
	17	6		その日のうちに記録は記入し、記録に目を通し何か気づいた点、疑問点などあればその場で声をかけ、共有すべき点は全職員で共有しております。	
	18	6		法令に基づき児童発達支援管理責任者が、概ね6か月ごとの目安で児童の現状をモニタリングして、計画の見直しの必要性を判断しております。	
19	6		定期的に保護者様との面談を行い、児童の発達状況や保護者様のご意向などを確認して支援内容を設定、掲示しております。		
関係機関や保護者との連携	20	6		主に児童発達支援管理責任者が参画しております。事前に職員間でその子どもの気になる点などを確認して聞き取りを行っております。	
	21	6		送迎時間やその他の変更では迅速に対応し、トラブルにならないように連絡調整を適切に行っております。	
	22		6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23		6	担当者会議にて関係機関との情報共有に努め相互理解に努めております。その中で就学前の情報を聞き取りできるように努めております。	今後は就学を機に利用開始の児童については相談員や保護者様にも協力していただきアセスメントをしてまいります。また、すでに就学されている児童が利用を開始する際にも社内で標準化されたアセスメントを使用し就学前の情報共有に努めてまいります。
	24		6	今年度は該当の児童がおりませんでした。移行する児童がおりた場合は、支援内容などの情報提供を行えるように情報整理をしております。	今後移行する児童がおりた場合は、移行先の事業所への十分な情報提供を行い、必要な情報がもれなく引き継げるよう書面等を検討し作成していきたいと考えております。
	25	6		センターの機能を持っている事業所がエリア内にあるので気づいた点等あればすぐに助言や研修を受け、相談できる体制を整えております。	
	26		6	現在は交流するような活動の機会は実施しておりません。	コロナ収束後に保護者様のご意向等を伺いながら、地域のクラブや児童館との交できる機会や情報共有を検討してまいります。
	27	1	5	現在は、機関誌や協議会発信のアンケートに積極的に協力する等の連携に努めております。	今後は今以上に協議会等の活動に関心をもち関わってまいります。
	28	6		利用時の様子については送迎時やお迎え時に伝えたり、連絡帳に記載したりして共通理解に努めております。その他、担当者会議にて保護者より相談等があれば学校等も交え、話し合う機会を積極的に設けております。	
29	6		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。		
保護者への説明責任等	30	6		契約時に運営規定、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また、保護者様のご要望がある際には、再度丁寧にご説明しております。	
	31	6		その都度、担当者会議やケースを開き、必要な助言や支援に努めております。	
	32		6	今年度はコロナ禍の為、父母の会を開催する機会がありませんでした。	コロナ禍もあり、またご家庭によっては直接集まって交流する方法を取りにくい保護者様もいる一方で、ご意向等確認し今後開催を検討してまいります。
	33	6		苦情には窓口と責任者を設け、利用開始時にお知らせしております。保護者様からのご意見、苦情にはその日の内に職員間で話し合い改善策を保護者様にご提案しております。	
	34	6		COMPASSだよりを季刊発行し、毎月連絡帳やWebサイトのブログで活動や児童の様子や成長をご紹介します。	
	35	6		個人情報に関しては法令を遵守し、細心の注意をはらって使用や取り扱い、保管、処理に注意しております。	
	36	6		現在、視覚障害または聴覚障害などで伝達に配慮と工夫が必要な児童はおりませんが、コミュニケーションが苦手な児童には職員がきつかけをやる・介入するなど話しやすい環境を作れるよう心がけております。	
	37		6	現在は、地域住民を招待するような取り組みは行っておりません。	現在は感染症リスク、プライバシーの保護の観点からも保護者様全員の理解や説明が難しい部分もあるため、慎重に検討してまいります。
非常時等の対応	38	6		各種マニュアルを策定し、掲示しております。職員・保護者様への周知徹底は図れていますが、保護者様への周知が不十分な点もあると考えており、引き続き丁寧な周知を行っております。	
	39	6		防火管理者を置き、年間訓練計画を作成し、実施しております。	
	40	6		研修に係る責任者を設け、事業所内で計画的に研修を実施しております。	
	41	6		利用計画書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。	
	42	4	2	アレルギーの有無に関しては、アセスメントの段階で保護者様から聞き取りを行い、事業所内で提供する食物についても必要な場合は、保護者様に確認をするなど配慮しております。	おやつ等提供を行う際は、医師の指示書に基づく正しい対応を行い、安全な支援に取り組んでまいります。
43	6		社内共通の様式で標準化されております。		